

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●有馬記念はエフフォーリアが優勝

12月26日(日)に行われた有馬記念(G I)ではエフフォーリア(牡3歳/美浦・鹿戸雄一厩舎)が優勝しました。デビュー7戦目での有馬記念勝利は1998年グラスワンダー、2018年ブラストワンピースに並ぶ最少キャリアのタイ記録となります。

●中山大障害はオジュウチョウサンが3度目の勝利

12月25日(土)に行われた中山大障害(J・G I)ではオジュウチョウサン(牡10歳/美浦・和田正一郎厩舎)が優勝、2017年以来4年ぶり3度目となる同レース制覇を果たすとともに、自身の持つJ・G I最多勝利記録を8へと伸ばしました。

●岩戸孝樹調教師がJRA通算300勝を達成

12月26日(日)の6回阪神8日・第5レースではエコロドリームが1着となり、同馬を管理する岩戸孝樹調教師(美浦)は、現役69人目となるJRA通算300勝(延べ5487頭目)を達成しました。

●藤原辰雄調教師が勇退、村田一誠調教師が新規開業

藤原辰雄調教師(美浦/JRA通算5000戦353勝)が12月20日(月)付で勇退しました。これにともない村田一誠調教師(美浦/14馬房)が12月21日(火)付で新規開業し、藤原厩舎の管理馬は村田厩舎へ転厩しています。

●重賞ウィナー4頭の競走馬登録抹消

2019年アルゼンチン共和国杯(G II)の勝ち馬ムイトオブリガード(牡7歳/栗東・角田晃一厩舎/JRA通算30戦6勝)のほか、2020年シルクロードS(G III)の勝ち馬アウイルアウェイ(牡5歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算21戦4勝)、2018年平安S(G III)などの勝ち馬サンライズソア(牡7歳/栗東・河内洋厩舎/JRA通算22戦4勝・地方2戦1勝)、2018年プロキオンS(G III)などの勝ち馬マテラスカイ(牡7歳/栗東・森秀行厩舎/JRA通算22戦6勝・地方7戦1勝・海外7戦0勝)は、12月3日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ムイトオブリガードはJRA馬事公苑で乗馬、アウイルアウェイは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬、サンライズソアは北海道浦河町のイーストスタッドで種牡馬、マテラスカイは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ハイセイコー記念は浦和のノブレスノア【各地の主要2歳重賞】

ハイセイコー記念(11月17日、大井、1600円)は、後続を引き付けて逃げた2番人気のノブレスノア(牡、父トーセンブライト)が直線の競り合いをクビ差で制し、単勝1.6倍の1番人気に推されたマママカロニは4着でした。金沢シンデレラC(11月16日、金沢、1500円)は、先手を取った3番人気のボサノヴァ(父ノボジャック)が後続を半馬身抑えて逃げ切りしました。金沢ヤングチャンピオン(11月28日、金沢、1700円)は、2番手を進んだエムティアンジェ(牝、父マクフィ)が、直線入口で逃げ粘るボサノヴァを捉えて1馬身半突き放し、単勝1.4倍の支持に応えて3度目の重賞制覇。ゴールドウイング賞(11月30日、名古屋、1600円)は、5番手から差を詰めた3番人気のドミニク(牝、父トーセンブライト)が残り50円で差し切り勝ち。寒菊賞(12月14日、水沢、1600円)は、3番手から4コーナーで抜け出した単勝1.8倍で断然人気の北海道からの転入馬クローレキック(牡、父ストロングリターン)が、後続を4馬身引き離して圧勝を取めています。

●12月29日の東京大賞典(大井)で4連覇を狙うオメガパフューム

東京大賞典(G I、12月29日、大井、2000円)は、このレース3連覇中のオメガパフュームの4連覇なるかが最大の焦点となり、他ではウェスタールンド、アナザートゥルース、ロードブレス、ミューチャー(船橋)、クリンチャー、サンライズノヴァ、ノンコノユメ(大井)、デルマルーヴルの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2021年は3頭の日本調教馬が海外でG1制覇

今年は3頭の日本調教馬が海外でG1を制しました。中でも際立っていたのはラヴズオンリーユー(牝5歳、父ディーブインパクト、栗東・矢作芳人厩舎)。11月の米G1ブリーダーズCフィリー&メアターフ(芝2200円)を制して、日本調教馬初のブリーダーズC制覇を成し遂げたほか、4月の香港G1クイーンエリザベスII世C(芝2000円)と12月の香港カップ(芝2000円)制覇とあわせて、日本調教馬として初めて同一年に海外G1を3勝する快挙を達成しました。ダートで歴史を作ったのがラヴズオンリーユーと同じ矢作厩舎のマルシユロレーヌ(牝5歳、父オルフェーヴル)。上記ブリーダーズCフィリー&メアターフの3レース後に行われたG1ブリーダーズCディスタフ(ダート1800円)に優勝。日本調教馬初の海外ダートG1制覇という金字塔を打ち立てました。またグローリーヴェイズ(牡6歳、父ディーブインパクト、美浦・尾関知人厩舎)は12月のG1香港ヴァーズ(芝2400円)を制して、2019年以来2度目となるこのレースの優勝を果たしました。